

那覇市男女平等週間企画講座

市では、毎年9月20日を含む1週間を「男女平等週間」と定めています。

暮らしの中の 「ジェンダー」表現を考える

私たちは、絵本や教科書、新聞、雑誌などの紙媒体やテレビ、ラジオ、ウェブ等、あらゆるメディアから情報を得ています。最近では、受信するだけでなく、LINE、Twitter、Instagram等のSNS (Social Networking Services)で、誰もが発信者となれます。

例えば、「夫が家事・育児を手伝う」という表現があります。どこが「問題」なのでしょう？ その表現には、「家事・育児は男性本来の仕事ではない」というメッセージが潜んでおり、性別役割分業を助長することになりかねません。

今回の講座では、『失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック』(小学館)の編集・執筆に関わった琉球新報社の慶田城七瀬記者と、スマートフォンアドバイザーのモバイルプリンスさんのお二人に、暮らしの中の「ジェンダー表現」について語り合ってください。

日時 **9月15日(木) 午後7時～8時30分**

場所：**なは市民活動支援センター会議室(なは市民協働プラザ2階)**

定員：**45人(事前申込先着順)**

講座のお申込みは、下記のQRコードからできます。

メディアの表現に「何だかモヤモヤする」と感じたことを教えてください！



講師：慶田城 七瀬さん
(琉球新報記者)

☆プロフィール (けだしろ ななせ)

琉球新報記者。2002年に入社後、開発事業部、北部報道部、社会部、整理部、政治部などを経て現在デジタル編集グループ。2019～20年まで琉球新報労組書記長、新聞労連沖縄地連中央執行委員、21年8月から沖縄地連委員長。22年度の沖縄選出中央執行委員。20年に新聞労連女性特別中執が提起した国際女性デーのメディア連携キャンペーンに参加、20年11月の国際男性デーには紙面とWEBで「男性の生きづらさ」をテーマに報道展開した。

新聞労連の活動で「失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック」編集チームに参加、モバイルプリンスさんのインタビューを担当した。

講師：島袋 コウ/モバイルプリンスさん
(スマートフォンアドバイザー)

☆プロフィール (しまぶくろ こう)

1987年生、沖縄県出身。お笑い芸人・携帯電話ショップ勤務の経験を活かし、スマホ・ネット活用の方法を楽しく、分かりやすく伝える。琉球新報の小中学生新聞「りゅうPON!」での連載や、RBC i ラジオ「アップ!!」木曜コメンテーターなど、様々な場所で情報を発信。

2020年、初の著書『しくじりから学ぶ13歳からのスマホルール』(旬報社)を出版。沖縄国税事務所より「スマート申告納税大使」に任命される。現在、那覇市の「男女共同参画会議委員」を務める。



なは女性センターを利用される皆さまへご協力をお願い



「なは女性センターにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って、ご利用いただきます。体調のすぐれない方は、ご利用をお控えください。マスク着用、検温、手指消毒のご協力をお願いします。今後の状況により、変更する場合があります。最新の情報は市ホームページでご確認ください。

－誰もが「当然の権利」を得られる社会に

第16期・那覇市男女共同参画会議の委員7人の皆さまをご紹介しますインタビュー企画。第5回は、山城 圭さん(弁護士/あらた総合法律事務所)です。

やましろ けい

山城 圭さん(弁護士/あらた総合法律事務所)



【プロフィール】

(やましろ・けい)あらた総合法律事務所 弁護士。2004年に司法試験合格、06年に弁護士登録し「おきなわ法律事務所」に入所。12年に独立し「あらた総合法律事務所」を設立した。これまでに沖縄弁護士会副会長、犯罪被害者支援に関する委員会委員長なども務めた。2021年11月から那覇市男女共同参画会議の委員を務めている。首里高、新潟大卒業。那覇市出身。

▲弁護士としての活動を振り返り、男女共同参画などについて語る山城圭さん＝7月14日、那覇市松尾の「あらた総合法律事務所」

★－弁護士としての主な活動を教えてください。

金銭トラブルなどの民事事件から、離婚・養育費や相続に関わる家事事件、窃盗や殺人などの刑事事件まで、あらゆるジャンルを扱ってきました。また、普天間基地爆音訴訟などの米軍基地問題関係の弁護団としても活動しています。2021年9月からは、離婚後の子どもの養育費不払いを解消するため、県内の弁護士有志11人で「沖縄養育費弁護団」を結成し、毎週1回、持ち回りて無料の電話相談を受けています。

★－弁護士として感じる沖縄の現状や課題は？

課題は幾つもありますが、まず基地問題です。国が沖縄を見捨て、差別を重ねている問題点があると考えています。他方、沖縄側の課題としては、県民が反対や抵抗することに疲弊しきって、この問題の解決を諦めてしまっているのではないかと感じます。しかし、これまで何度民意を示しても国がこれに応えてこなかった経緯を考えると、諦めを持ってしまうのもある意味やむを得ないように思え、「国の無責任」を県民が諦めてしまう現状もまた、僕は基地被害だと考えています。

★－養育費の不払いが多い要因は何でしょうか。

父親の収入が低い、または不安定な場合でそもそも支払いが困難なケースもありますが、養育費について父親が無理解だという場合もあります。例えば、3万円の養育費を請求された父親が、「そんな高額な養育費をどうすんだ」「どうせ母親が使うのではないか」と本気で言うわけです。一人の子を育てるのには本来、月2～3万では到底足りませんが、現実的に子育てに携わっていないと、それがなかなか理解できないのかもしれない。僕は父親側の代理人につくこともあるので、その場合は権利だけでなく、父親の義務についても理解してもらうよう説明しています。

★－那覇市の男女共同参画会議の委員を務めていただいています。

ジェンダーやLGBTQ+の問題については、社会認識の変化のスピードが速いと感じます。20年前に比べて、大きな理解が広がっています。男女共同参画についても以前は「遠いところにある目標」という印象でしたが、だいぶ変わってきました。僕は弁護士として、基地問題も離婚事件も淡々と進めながら、みんなに当然の権利を得てもらいたい。現場で困ってる人、沖縄が抱える問題の解決に向け、微力ながら、社会が変化する力の一部になれるといいなと考えています。

★－養育費の不払い問題に取り組まれています。

「子どもの貧困」も大きな課題です。背景の一つに、離婚後に養育費が支払われていない実態があります。父親が非正規や不安定雇用で収入が低く、現実的に養育費を支払えない状況もありますが、女性側が「離婚したのに元夫を頼っているようでみじめだ」「恵んでもらうみたい」と、養育費を「助けてもらっている」と誤解しているケースもあります。養育費の支払いは子どもの親である以上当然の義務で、子どものためにもその支払いを求めていくべきです。当然支払ってもらべきものだと知らない人も、まだまだ多い。請求の仕方が分からない人に、必要な知識を広めたいとの思いで無料電話相談を継続しています。

★－男女共同参画について感じていらっしゃることは？

沖縄弁護士会でも現在、各委員会に1名以上の女性に加わってもらえるよう取り組んでいます。でも、そうすると女性の弁護士が幾つも掛け持ちする状態になり、結果的に女性の負担が増えてしまう。一般的に、家事も育児もまだまだ女性の負担が重いのに、その負担を軽くする前に「男女共同参画」が先行すると苦しくなるのではないかと感じます。かといって参画を遅らせるという話にはなりません。難しい課題ですが、社会が、夫が、参画しやすい環境をどう整えていくのかだと思います。

★－プライベートの楽しみを教えてください。

3歳、5歳、小2、中1、中3になる5人の子育て中です。3人目の子はダウン症で、出生直後は医師から「心臓に穴があるので将来手術が必要」と説明され、私も妻も不安でしたが、元気に育ち、他のきょうだいと仲よく遊んでいます。どの子も可愛くてたまりません。僕は食べることが好きなので、親しい人と飲みながらおしゃべりするのが好きです。フライドポテト、唐揚げ、焼き肉、お寿司とか美味しいものは全て好きです。僕が注文すると揚げ物ばかりになって、同席者からクレームが入りますが、結局皆さん残さず食べています。人は皆等しく揚げ物が好きなんだと思います。(^^)

講座名：いま、知りたい！おとなが学ぶ、こどものための生と性

開催日：2022年7月2日(土)午前10時～12時 参加者：おとな21人・子ども14人

2022年7月16日(土)午後2時～4時30分 参加者：おとな30人・子ども8人

講師：東 さよみさん（助産婦・シェルター「おにわ」寮母）



▲お人形を使って説明する講師の東さん

【開催日：7月2日】講座担当から

講師の東さんが「女のひとのおっぱいはなんでおおきくなるの？」と、子どもたちに問いかけました。「ごはんにっぱいたべるから」「お母さんが赤ちゃんにミルクをあげるため」など、自由に子どもたちが応えます。

性教育講座の中で東さんは、身体の仕組みについて、おとなも子どもも科学的に学ぶことが大切だと指摘していました。例えば、性器にはひとつひとつ役割があり、名前がついていること。性器などのプライベートパーツは、自分だけの大切なものであり、誰にも触らせない、人に見せないなど、子どもへの伝え方を学ぶことができました。

また、性器は「汚れている場所だからさわってはいけない」のではなく、「清潔にしないといけない大切な場所だから、清潔な手で触ること」、「さわって気持ちよくなることもあるけど、みんなの前ではしないでね。

ひとりの場所でさわってね」と声をかけるなど、多くの気づきがある講座でした。



▲親子での参加者も多く、熱心にメモをとりながら聴講されていました。

【開催日：7月16日】講座担当から

保護者と一緒に、小学3年生・4年生、中学2年生の女子8人が参加してくれ

東さんのお話は、プライベートゾーンの説明から始まりました。「男子に乳首があるのはなぜ？」「女性はどうして生理になるの？」「睾丸は身体の外にあるけど、どうして卵巣は身体の中にあるの？」「セックスってなあに？」「卵子と精子はどこで出あうの？」等の質問に正しく答えられますか？難しいですね(汗)

おとなが正しく伝えることができない時、子どもはネット検索し、そのうちにアダルトビデオにたどり着き、間違った性情報を得ることになってしまいます。

性に興味や関心が出てきたことを肯定することがポイントです。絵本や動画を見ながら話すことも大事です。「安全なセックスをするために、コンドームを使ってね！」と言える関係づくりや、「コンドームを自分で買うことができ、安全に着けることのできるカッコイイおとなになってからセックスしようぜ！」という、東さんの言葉を子どもたちに伝え、広げていきたいと思えます。



見てほしいYouTubeを紹介します。

- ① Consent (URL : <https://m.youtube.com/watch?v=-cxMZM3bWy0>)
- ② Consent for kids (URL : <https://m.youtube.com/watch?v=xxlwgv-jVl8>)
- ③ Inside Pregnancy (URL : <https://m.youtube.com/watch?v=vHoMQecdXyg>)
- ④ コンドームの正しいつけかた (URL : <https://m.youtube.com/watch?v=0N8fZyC22xg>)
- ⑤ マスターベーションってフツウのこと (URL : <https://m.youtube.com/watch?v=nL90nAbDI9M>)



Book

★女性問題やジェンダーに関する図書の貸し出し及び資料の閲覧ができます。
☆貸出し期間：2週間 お一人2冊まで

『子どもジェンダー』

シオリヌ(大貫詩織)著/松岡宗嗣監修/村田エリー絵
ワニブックス/2021年5月10日発行/151ページ

身体の性別につきまとう「ふつう」や「役割」を問い、考えます。子どもたちへ向けられた著者の言葉は、同時におとなたちへのメッセージとも受け取ることができます。

男の子が赤いランドセルを選ぶこと、女性が外で働き、男性が家事・育児を行うこと。自分の性別がわからない子、こころとからだの性別が同じではない子。

社会的につくられた性別の役割を脱ぎ捨てる。年齢や世代に関係なく、楽しんで読むことができる1冊です。



なは女性センター開館26周年 特別講演

沖縄、若年妊娠・出産を考える — 調査と支援の現場から

講師：上間陽子さん(琉球大学教育学研究科教授)

日時：10月1日(土) 午後2時～4時30分

場所：調整中

【講師プロフィール】

琉球大学教育学研究科教授。若年出産を支援するシェルター「おにわ」共同代表。著者は『裸足で逃げる』(太田出版2017)、『海をあげる』(筑摩書房2020)、心理カウンセラーの信田さよ子さんとの対談本『言葉を失ったあとで』(筑摩書房2021)がある。

*詳しくは、次号の「なは女性センターだより」でお知らせいたします。

相談室「ダイヤルうない」

周囲に話せる人がいない、自分の気持ちをわかってもらえない。そんな時、「ダイヤルうない」を利用してみませんか。生きがい、家庭の問題など、女性の抱える様々な相談に応じ、自分の意思で人生を選択するために情報提供し、サポートします。

- 電話相談
- 面接相談(女性のみ・要予約)
- 法律相談(女性のみ・予約制)

 **098-861-7515**

月～土 午前9時～12時／午後1時～5時

「ストップ・DV」情報提供

相談室「ダイヤルうない」では、ドメスティック・バイオレンス(DV)で悩む方を支援するための情報提供を行っています。詳しくは相談室「ダイヤルうない」へお問い合わせください。

性の多様性に関する相談

あなたが「自分らしい生き方」を自らの意思で選択できるように、一緒に考えます。どなたでもご相談ください。

with you おきなわ

沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター

はやくワンストップ



#8891

24時間
365日



※繋がらない場合は、098-975-0166へ

性暴力の被害にあわれた方の意思を尊重しながら、医療的支援を含めた必要な支援を行っています。24時間365日体制で相談を受け付けていますので、いつでも相談できます。



那覇市パートナーシップ登録

「那覇市パートナーシップ登録」は、市長が両者をパートナーシップ関係にあると認めた場合、その関係について登録簿へ登録し、証明書を交付するものです。

■「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言(レインボーなは宣言)の理念に基づく取り組みです。登録によって何らかの法律上の効果(婚姻、相続、税金の控除など)が生じるものではありません。

登録数 **44 組**
2022年8月15日現在

■お問い合わせ・申請の予約■
TEL. **098-951-3203** ◆月～金:午前9時～午後5時
* 祝日、慰霊の日(6/23)、年末年始を除く

レインボー交流会の開催について

「交流の場がほしい」「性の多様性について語りたい」といった声から生まれた誰でも参加できる交流会です。



日時: 2022年9月3日(土)14時～16時
場所: なは女性センター(なは市民協働プラザ)
主催: 市民団体ていーだあみ
tiidaami.okinawa@gmail.com



※「レインボー交流会okinawa」で検索すると、フェイスブックで最新情報を確認できます。

男女格差(ジェンダーギャップ)指数ランキング2022

146か国中
116位

世界経済フォーラム(WEF)は、各国のジェンダー不平等状況を分析した2022年版「ジェンダー・ギャップ指数(Gender Gap Index: GGI)」を発表しました。日本は昨年の120位から順位を上げましたが、政治や経済分野で遅れが目立ちます。教育や健康分野では男女間での格差は見られず、他の20カ国と並びトップクラスです。一方、経済分野では女性の労働参加率の大幅な落ち込みが響き121位、政治分野は議員や閣僚級ポストに占める女性の割合が低く139位でした。

◆なは女性センター講座について

*受講希望の講座は、なは女性センター窓口、電話、FAX、Eメールでお申し込みください。また手話通訳、一時保育(現在休止中)の利用は、那覇市在住・在勤・在学の方が対象です。(事前予約が必要)

お問合せ

那覇市銘苅2-3-1(なは市民協働プラザ1F Aコア)
TEL. 098-951-3203 FAX. 098-951-3204
Email: s-heidan002@city.naha.lg.jp

開館時間 休館日
月～金: 午前9時～午後9時 年末年始(12/29～1/3)
土曜日: 午前9時～午後5時 日曜日・祝日・慰霊の日(6/23)

駐車場のご利用について

「なは市民協働プラザ」の地下駐車場と消防局隣の「ナハメカルパーキング」は**有料**です。センター利用者は、料金の一部が免除されますので「駐車券」を事務室にお持ちください。

☆なは女性センター利用者の一部免除料金

| | |
|-------------------|------|
| 最初の2時間まで | 100円 |
| 最初の2時間を超え1時間までごとに | 100円 |

※利用時間に1時間に満たない端数は1時間として計算。



なは女性センター
メール



なは女性センター
ホームページ



Facebook